

2019年5月20日

愛知製鋼株式会社

東海市と包括連携協定書を締結 ～相互連携強化により地域活性化に貢献～

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、代表取締役社長：藤岡高広）は、5月1日、東海市を取り巻く諸課題に対応し、更なる地域活性化と相互発展を図ることを目的として、東海市と包括連携協定書を締結し、5月18日の「市制50周年記念式典」において披露されました。

これは、東海市制50周年記念事業の一環として実施されるもので、地域経済の活性化や環境保護、地域防災、文化芸術・スポーツ、健康などの各分野で、当社と東海市が積極的に連携・協力することが定められています。

東海市との連携においては、1971年には市と「公害防止協定」を締結、2010年からは出張授業「鉄の教室」を開始し、現在では年2回、市内全12の小学校で実施しています。また、2012年以降は災害発生時の各種支援に関する協定を結ぶなど、よりいっそうの相互発展に向け活動しています。

なお当日は、本記念式典の中で当社陸上競技部の「東海市ふるさと大使」就任にあたっての委嘱式が執り行われたほか、当社の超高感度磁気センサ「MIセンサ」が採用された「オリジナルカート」の完成発表会も実施されました。

今回の協定書締結を機に、これまで以上に行政との連携・協力体制を強化し、「いつまでもこの地にあり続けてほしい」企業となるべく、さらなる地域貢献に取り組んでまいります。



包括連携協定書を交換する鈴木東海市長(左)と藤岡社長(右)



東海市ふるさと大使 委嘱状授与式の様子



お披露目されたオリジナルカート

以上